

# 2023 年度一般社団法人日本消化器がん検診学会事業報告書

(自 2023 年 4 月 1 日 至 2024 年 3 月 31 日)

## 1. 定款第 5 条 1 号 (消化器がん検診に関する学術集会、学術講演会、研究会等の開催)

### ◎総 会

第 62 回総会 テーマ：「集団のパラダイムシフト -効率的で効果的な消化器がん対策を目指して-

会 長：加藤勝章 (公益財団法人宮城県対がん協会がん検診センター)

会 期：2023 年 6 月 30 日 (金) ~ 7 日 2 日 (日)

会 場：ハイブリッド開催 現地+LIVE 配信 (一部のみオンデマンド)

参加数：1,897 名 (現地 499 名)

演題総数：主題 19 題 一般演題 45 題

内 容：

会長講演 (1) 「集団のパラダイムシフト

-効率的で効果的な消化器がん対策を目指して-

特別講演 (2) 「がん対策推進基本計画とがん検診のあり方について」

「がん検診分野におけるヘルスリテラシーと SDM について」

教育講演 (4) 「職域におけるがん検診の制度管理と事業評価の考え方について」

「大腸がん検診のエビデンス：新たな評価方法による有効性の検証」

「ナッジ理論によるがん検診の受診率向上策」

「改正個人情報保護法施行に伴う

2022 年「生命・医学系指針」改正の要点」 (社会医学セミナー)

特別プログラム (1) 「プロなら常識？見過ごしていたかもしれない新旧の知見」

パネルディスカッション (2)

「血液・胃 X 線・内視鏡による胃がんのリスク評価の課題と展望」

「大腸内視鏡検診導入の動向と実現可能な検診アルゴリズムを考える」

ワークショップ (1) 「超音波がん検診の問題点 -高危険度群をどう扱うべきか-

一般演題 1~9 (大腸、肝胆膵、胃がん (リスク評価、内視鏡検診、X 線検査)、食道・胃・  
十二指腸、がん検診・その他)

放射線フォーラム (1)、超音波フォーラム (1)

モーニングセミナー (1)、ランチョンセミナー (5)、イブニングセミナー (1)

### ◎大 会

第 61 回大会 (JDDW 参加) 「テーマ：新時代へ！ 消化器がん検診」

会 長：日山 亨 (広島大学保健管理センター)

会 期：2023 年 11 月 3 日 (金) (JDDW 会期：11 月 2 日 (木) ~ 5 日 (日))

会 場：神戸コンベンションセンター (現地及び Web のハイブリッド)

備 考：参加学会

日本消化器病学会 会長：名越澄子

日本消化器内視鏡学会 会長：塩谷昭子

日本肝臓学会 会長：島田光生

日本消化器外科学会 会長：大段秀樹

参 加： 24,551 名 (現地 8,584 名 Web 参加 15,967 名)

演題総数：主題 14 題 一般演題 33 題

内 容：

会長講演 (1) 「新時代へ！ 消化器がん検診」

特別講演 (2) 「新時代の大腸がん検診-内視鏡導入への期待」

「腹部超音波検診のデジタルトランスフォーメーション」  
 招待講演 (1) 「From *H. pylori* gastritis to gastric cancer: The Vietnam story」  
 大会会長賞 (1) 「直視型超音波内視鏡を用いた一次的膵癌胃癌検診のアウトカムの検討」  
 JDDW 教育講演 (8) e-learning 形式  
 JDDW 医療セミナー (6) 「医師の「2024 年問題」はチャンスか？」  
 JDDW2023 女性医師・研究者プログラム (6)  
     「女性医師キャリア継続・支援のための SNS 活用法」  
 パネルディスカッション (主導) (1) 「対策型胃内視鏡検診の課題と展望」  
     「死亡率減少を目指した大腸がん検診」  
 ワークショップ (主導) (1) 「より効果的な大腸がん検診の実現に向けて」  
 一般演題 (デジタルポスターセッション) :  
 食道・胃 (上部消化管内視鏡検診、X 線調査、胃がん検診、対策型胃内視鏡検診)、  
 胃 (*H.pylori*、胃潰瘍性病変)、胃 (内視鏡検診)、大腸 (大腸がん検診)、  
 大腸 (スクリーニング精度)、大腸 (PET、検診)、肝胆膵 (訟訴、変遷)、  
 肝胆膵 (GIST、検診、その他)  
 JDDW 統合プログラム (6)、International Session (6)、  
 Strategic International Session (4)、シンポジウム (12) パネルディスカッション (11)、  
 ワークショップ (23)、ハンズオンセミナー (8)、  
 The 7th Joint Session between JDDW-KDDW-TDDW 2023 (4)、  
 メディカルスタッフプログラム (2)、  
 ブラックファーストセミナー (29)、ランチョンセミナー (35)、  
 サテライトシンポジウム (30)

## ◎地方会 (各 7 支部、年 1 回開催)

### ・第 52 回北海道地方会

会 長：盛一健太郎 (旭川医科大学内科学講座消化器内科学分野)  
 会 期：2023 年 7 月 22 日 (土)  
 会 場：札幌医科大学 臨床教育棟 講堂  
 参加数：113 名  
 内 容：特別講演(1)、教育講演(2)、一般演題(8)

### ・第 61 回東北地方会 (テーマ：新しい消化器がん検診の構築)

会 長：加藤智恵子 (盛岡市立病院消化器内科)  
 会 期：2023 年 12 月 2 日 (土)  
 会 場：盛岡市民文化ホール (小ホール、第 2 会議室)  
 参加数：385 名 (医師 67 名、医師以外 316 名、招待 2 名)  
 内 容：特別講演(1)、教育講演(4)、パネルディスカッション(6)  
 症例検討会(1)、一般演題(9)、スポンサードセミナー(1)

### ・第 82 回関東甲信越地方会 (適切ながん検診を安全に提供する)

会 長：岡庭 信司 (飯田市立病院 消化器内科/診療技幹・内視鏡センター)  
 会 期：2023 年 9 月 23 日 (土) ~24 日 (日)  
 会 場：長野市 JA アクティーホール  
 参加数：233 名 (医師 23 名、医師以外 155 名、招待 55 名)  
 内 容：会長講演 (1)、教育講演(3)、シンポジウム(4)、パネルディスカッション(8)、  
 症例検討会(1)、一般演題(6)、ザ・ベストイメーjing コンテスト (1)、クイズ  
 セッション (1) ランチョンセミナー (2)、イブニングセミナー (1)

- ・第52回東海北陸地方会（テーマ：消化器がん検診の将来展望）  
 会長：小林 隆（藤田医科大学ばんだね病院 消化器内科）  
 会期：2023年12月9日（土）  
 会場：ウイंकあいち 小ホール  
 参加数：288名（内招待者23名）  
 内容：特別講演(2)、教育講演(2)、主題講演(3)、シンポジウム(4)、一般演題(11)、  
 ランチョンセミナー(2)
- ・第52回近畿地方会（テーマ：大腸がん検診の『いま』the path to the future）  
 会長：若林 直樹（JCHO 京都鞍馬口医療センター健康管理センター消化器内科）  
 会期：2023年8月26日（土）  
 会場：京都テルサ  
 参加数：244名（内招待者6名）  
 内容：特別講演(1)、シンポジウム、基調講演(2)、研修会(7)
- ・第54回中国四国地方会（テーマ：消化器がん検診に必要な次の一手は？）  
 会長：本田 浩仁（とくしま未来健康づくり機構 徳島県総合健診センター）  
 会期：2023年11月25日（土）～26日（日）  
 会場：徳島大学大塚講堂  
 参加数：176名（医師128名、医師以外45名、招待者8名）  
 内容：特別講演(2)、教育講演(4)、シンポジウム(6)、優秀演題セッション（5）、  
 一般演題（8）、症例検討会（1）、ランチョンセミナー(1)
- ・第52回九州地方会  
 会長：平賀 聖久（佐田厚生会佐田病院 放射線科）  
 会期：2023年7月29日（土）  
 会場：エルガーラホール  
 参加数：221名（内招待者30名）  
 内容：会長講演(1)、教育講演(2)、パネルディスカッション（4）、一般演題（19）、  
 症例検討会（1）、ランチョンセミナー(1)

◎第4回医師研修会（総会時に開催）

日時：2023年7月2日（日）正午～13日（木）正午（オンデマンド配信期間）

※オンデマンド配信にて開催

参加：Aセッション 338名 Bセッション 336名

内容：Aセッション 消化器がん検診の基本と課題

1. がん検診総論
2. 胃がん検診の基本と今後の課題
3. 大腸がん検診の基本と課題
4. 肝胆膵領域のがん検診の現状と課題

Bセッション 消化器がんについてもっと知ってほしいこと

1. バレット食道と食道腺がん
2. 胃内視鏡検診の今後の展望
3. 大腸CT検査の今後の展望
4. 膵がん早期診断をめざして
5. 胃X線読影の達人をめざして

## ◎支部主催医師研修会

- 北海道支部 日時：2023年7月22日（土）（地方会に併催）  
会場：札幌医科大学 臨床教育棟 講堂  
参加：16名
- 東北支部 日時：2023年12月2日（土）（地方会に併催）  
会場：盛岡市民文化ホール（小ホール、第2会議室）  
参加：69名
- 関東甲信越支部 日時：2023年9月23日（土）～24日（日）（地方会に併催）  
会場：長野市 JAアクティールホール  
参加：14名
- 東海北陸支部 日時：2023年12月9日（土）（地方会に併催）  
会場：ウイंकあいち  
参加：31名
- 近畿支部 日時：2023年8月26日（土）（地方会に併催）  
会場：京都テルサ  
参加：16名
- 中国四国支部 日時：2023年11月25日（土）～26日（日）（地方会に併催）  
会場：徳島大学大塚講堂  
参加：11名
- 九州支部 日時：2023年7月29日（土）（地方会に併催）  
会場：エルガーラホール  
参加：8名

## ◎第8回胃がん検診専門技師研修会

日時：2023年10月2日（月）正午～10月16日（月）正午  
（オンデマンド配信によるWeb開催）

参加数：525名

- 内容：講義Ⅰ「胃がん検診専門技師認定制度、認定試験について」  
講義Ⅱ「全国集計から見る現状の胃がん検診の精度と課題点について」  
講義Ⅲ「偶発症の全国集計から見る胃がん検診のリスクマネジメントについて」  
講義Ⅳ「新・胃X線撮影法について1」「新・胃X線撮影法について2」  
講義Ⅴ「読影補助と認定制度について」  
講義Ⅵ「スキルアップに必須の胃がん病理学 ～潰瘍合併、胃型、除菌～」

## ◎第4回読影 e-learning（読影補助認定技師資格取得のため）

受講期間：2023年3月1日（水）正午～5月31日（水）正午  
受講者数：101名

## ◎第4回大腸CT検査教育研修会・検査実践トレーニングコース（総会時併催）

日時：2023年7月2日（日）正午～13日（木）正午 オンデマンド配信にて開催  
参加数：教育研修会 145名 実践トレーニングコース 91名

内容：教育研修会

総論（エビデンス・精度・ガイドライン等、精度、ガイドラインと大腸CT診断の最前線）

各論（前処置、撮影法、読影の概略）

実践トレーニングコース（ワークステーションを使ったデモンストレーション）

概論（読影の流れ）

症例提示（腫瘍性病変、病変との鑑別、偽陽性・偽陰性、ピットホール）

◎各支部主催の検診従事者研修会（放射線・超音波・保健師）

7支部にてそれぞれ各種研修会を開催した。（巻末資料参照）

2. 定款第5条2号（機関誌及び学術研究図書等の刊行）

- 1) 日本消化器がん検診学会雑誌を電子ジャーナル版にて刊行（J-STAGE & KaLib）  
（英文名：Journal of Gastrointestinal Cancer Screening）  
発刊月：隔月奇数月  
号数：Vol.61(3)号～Vol.62(2)号 + Supplement 2冊（総会・大会抄録集）

3. 定款第5条3号（消化器がん検診に関する実態調査及び研究の奨励、業績の表彰）

- 1) 全国の消化器がん検診に関する実態調査をオンラインで実施
- 2) 業績等の表彰
  - ・ 学術奨励賞  
星 千春（公益財団法人宮城県対がん協会）  
対象論文：胃がん検診車における放射線量の実態調査と装置管理の重要性

4. 定款第5条4号（国際的な研究の奨励及び助成）

- 1) 国際研究費助成金：該当者なし
- 2) 国際学会参加支援：1名 居軒和也（昭和大学医学部内科学講座消化器内科学部門）  
発表学会名：UEGW 2023 in Copenhagen（開催：2023/10/14～10/17）  
一般演題[NON-SEDATIVE TRANSNASAL IN  
ESOPHAGOGASTRODUODENOSCOPY JAPANESE.  
POPULATION-BASED SCREENING FOR GASTRIC  
CANCER IS INTOLERABLE FOR SOME  
PARTICIPANTS, REAL-WORLD DATA FROM A  
MULTICENTER ON-SITE QUESTIONNAIRE SURVEY]

5. 定款第5条5号（消化器がん検診認定医及び指導医・指導施設の認定並びに専門技師の認定）

- 1) 総合認定医
  - ・ 第4回（2023年度）総合認定医試験を行った。  
合格者数 127名
- 2) 認定医制度（旧）
  - ・ 指導医・指導施設の審査を行った。  
2023年度：指導医 17名、指導施設 7施設
  - ・ 認定医・指導医・指導施設の更新を行った。  
2023年度：認定更新 81名、指導医 42名、指導施設 13施設
- 3) 胃がん検診専門技師認定制度
  - ・ 新規認定審査を行った。  
2023年度：認定技師 197名
  - ・ 認定技師の更新を行った。  
2023年度：認定更新 430名
- 4) 胃がん検診専門技師による読影補助認定制度
  - ・ 新規認定審査を行った。  
2023年度：読影補助認定技師 100名
- 5) 大腸CT検査技師認定制度
  - ・ 新規認定審査を行った。

2023 年度：大腸 CT 検査技師認定 25 名 大腸 CT 検査技術認定施設 27 施設

#### 6. 定款第 5 条 6 号（消化器がん検診に関する社会への啓発活動）

消化器がん検診に対する国民の関心を高める目的で一般市民向けの公開講座を開催する。  
市民公開講座（主催：第 62 回日本消化器がん検診学会総会）

「がんを知り、がんを予防する」

日 時：2023 年 7 月 2 日（日）正午～13 日（木）正午 オンデマンド配信にて開催

参加数：805 名

内 容：胃がん検診

「知っておきたい、検診を上手に利用した胃がん予防のお話」

講演者：浅沼清孝（宮城県対がん協会）

大腸がん検診

「コロナ禍で後回しにしていますか？大腸がん検診と早期発見の重要性」

講演者：志賀永嗣（東北大学病院 消化器内科）

膵がん検診

「膵癌早期診断の現状と課題」

講演者：滝川哲也（東北大学大学院 医学系研究科消化器病態学）

2023年度日本消化器がん検診学会 7支部の各種事業報告  
事業年度：2023年4月1日～2024年3月31日迄

事業別	項目/支部	北海道	東北	関東甲信越	東海北陸	近畿	中国四国	九州
地方会	回数	第52回	第61回	第82回	第52回	第52回	第54回	第52回
	会長	盛一健太郎	加藤 智恵子	岡庭信司	小林 隆	若林 直樹	本田浩仁	平賀聖久
	会長所属先	旭川医科大学 内科学講座 病態代謝・消化器・血液腫瘍科 御内科学分野(消化器・内視鏡学部門)	盛岡市立病院	飯田市立病院 消化器内科 診療技師・内視鏡センター長	藤田医科大学ばたね病院 消化器内科	JCHO京都府馬口医療センター 健康管理センター消化器内科学部長	(公財)とくしま未来健康づくり 機構 徳島県総合健康センター	佐田厚生会 佐田病院 放射線科
	会期	2023年7月22日	2023年12月2日	2023年9月23日～24日	2023年12月9日	2023年8月26日	2023年11月25日～26日	2023年7月29日
	会場	札幌医科大学 臨床教育棟 講堂	盛岡市民文化ホール (小ホール、第2会議室)	JAアキティホール	ウインクあいち	京都テルサ	徳島大学大塚講堂	エルガラホール
	参加費	医師4,000円、医師以外2,000円	医師3,000円、医師以外2,000円	医師5,000円、医師以外3,000円	医師3,000円、その他2,000円	医師5,000円、医師以外2,000円	3,000円	医師5,000円、医師以外3,000円
	参加者数	113名(招待:0名)	(医師87名、医師以外26名、招待2名)	医師23名、医師以外155名、招待55名	288名、招待23名	238名、招待6名	168名、招待8名	191名、招待30名
	主なプログラム	特別講演「一歩先の対策型大腸がん検診」、教育講演「救命可能な腸がん発見をめざして(医師研修会DVD 動画閲覧)」、教育講演2「胃がんX線検診 最近の話題と心配事」、一般演題	特別講演「H. pylori除菌後時代の胃がん検診の課題と戦略」、教育講演1「胃がんリスク～改訂第3版も含めて～」、教育講演2「読影補助認定技師に求められるカテゴリー判定・適切な追加撮影」、教育講演3「大腸がん検診の適正な対象(推奨)年齢についての検討」、教育講演4「超音波技術を用いたNAFLD/NASH病態評価の新機軸」、パネルディスカッション「胃がん検診から胃炎検診へ～内視鏡検診とH. pylori除菌治療のコラボレーション～」、スポンサーセミナー「血清ピロリ抗体検査の正しい理解」、症例検討会、一般演題	教育講演1「血流診断を有効に活用していますか」、教育講演2「適切な判定をするための超音波検査 一腑一」、教育講演3「適切な判定をするための超音波検査 一腑一」、シンポジウム「放射線研修委員会・保健衛生研修委員会(上部消化管検診)」、パネルディスカッション「放射線研修委員会(大腸がん検診)」、パネルディスカッション「腹部超音波検診判定マニュアル2021 撮像法を極める」、一般演題、合同症例検診「放射線研修委員会(上下部消化管)」、スポンサーセミナー「消化管の超音波検査について」、スポンサーセミナー「内視鏡検診について」、スポンサーセミナー「腹部超音波検診について」、サブテーマ「メーキングコンテスト」、特別企画「チャレンジ・腹部超音波検診判定マニュアル2021」	特別講演「胃X線造影検査における画像および読影の精度向上にむけて」、教育講演「これからの大腸がん検診における大腸CT検査の位置づけ」、主題講演(医師研修会を兼ねる)「胃内視鏡検診のこれからを考える」・「胃X線検診のこれからを考える」・「腹部超音波検診のこれからを考える」、シンポジウム(医師研修会を兼ねる)「東海北陸地方における消化器がん検診の現状とこれから」、一般演題、ランチョンセミナー	特別講演:「1次予防も頑張っています～最新がん化学予防をupdate～」 シンポジウム:大腸がん検診の『いま』the path to the future	特別講演「癌検出をめぐった新規血清マーカーの開発と検診での課題」 特別講演2「日本の大腸がん死亡率は、なぜ諸外国並みに減少しないのか?～私たちが今すべきこと～」 教育講演「検診で見つかる異常所見～検出と判定におけるpitfall～」 「今だから学び直す消化管造影検査～上部編～」 「これから10年の胃がん検診に対応した胃癌病理学」 「これからの胃がん検診～受診者ファーストの視点に立った将来展望」 シンポジウム「消化器がん検診の現状と課題について～将来を見据えて」 一般演題、症例検討会、ランチョンセミナー	
	医師研修会	医師研修会(地方会に併催)	第32回医師研修会(地方会に併催)	医師研修会(地方会に併催)	医師研修会(地方会に併催)	医師研修会(地方会に併催)	令和5年度医師研修会(地方会に併催)	医師研修会(地方会に併催)
	日時	2023年7月22日	2023年12月2日	2023年9月23日～24日	2023年12月9日	2023年8月26日	2023年11月25日	2023年7月29日
会場	札幌医科大学 臨床講堂	盛岡市民文化ホール(小ホール)	JAアキティホール	ウインクあいち	京都テルサ	徳島大学大塚講堂	エルガラホール	
参加費	無	無	2,000円	無	無	無	無	
修了証発行数	16名	64名	14名	31名	16名	11名	8名	
主なプログラム	特別講演「一歩先の対策型大腸がん検診」、教育講演「救命可能な腸がん発見をめざして(医師研修会DVD 動画閲覧)」、教育講演2「胃がんX線検診 最近の話題と心配事」	特別講演「H. pylori除菌後時代の胃がん検診の課題と戦略」、教育講演1「『胃がんの京都分類』とH. pylori感染、胃がんリスク～改訂第3版も含めて～」、教育講演2「読影補助認定技師に求められるカテゴリー判定・適切な追加撮影」	下記の指定プログラムを組み合わせて5時間以上聴講 9月23日 ①シンポジウム「上部消化管関連」 ②教育講演1「血流診断を有効に活用していますか」 ③教育講演2「適切な判定をするための超音波検査 一腑一」 ④教育講演3「適切な判定をするための超音波検査 一腑一」 9月24日 ①パネルディスカッション「大腸がん検診関連」 ②合同症例検診「上下部消化管」 ③パネルディスカッション「腹部超音波検診判定マニュアル2021 撮像法を極める」 ④特別企画「チャレンジ・腹部超音波検診判定マニュアル」	主題講演「胃内視鏡検診のこれからを考える」・「胃X線検診のこれからを考える」・「腹部超音波検診のこれからを考える」、シンポジウム「東海北陸地方における消化器がん検診の現状とこれから」	講演1「がん検診の未来は地域のニーズから!」 講演2「京都市の胃がん内視鏡検診～持続可能なよりよい方式を目指して～」 講演3「胃がん検診の『いま』」 講演4「腸がん検診の『いま』- the path to the future -」	特別講演1「癌検出をめぐった新規血清マーカーの開発と検診での課題」特別講演2「日本の大腸がん死亡率は、なぜ諸外国並みに減少しないのか?～私たちが今すべきこと～」 教育講演「これから10年の胃がん検診に対応した胃癌病理学」 教育講演4「これからの胃がん検診～受診者ファーストの視点に立った将来展望」 シンポジウム「消化器がん検診の現状と課題について～将来を見据えて」		
放射線研修会	研修会名	第49回放射線研修委員会研修会	第28回放射線研修委員会研修会(地方会に併催)	胃X線安全基準～放射線・保健衛生研修委員会共同～(地方会に併催)	放射線研修 読影補助コース	第50回近畿支部放射線研修会(地方会に併催)	第1回放射線技師研修会	放射線技師研修会(地方会に併催)
	日時	2024年3月9日	2023年12月2日	2023年9月23日	2023年10月14日	2023年8月26日	2023年8月6日	2023年7月29日
	会場	Zoomによるweb開催	盛岡市民文化ホール(小ホール)	JAアキティホール	WEB開催(TimeOffice名古屋)	京都テルサ	香川県予防医療協会研修室及びZoomミーティングによるハイブリッド開催	エルガラホール
	参加費	1,000円	無	無	2,000円	無	無	無
	参加者数	170名	271名	70名	216名	166名	80名(Web49名会場11名)	107名
	主なプログラム	一般演題 教育講演「H.pylori 除菌による胃がん予防とH.pylori 感染胃炎の診断」 セミナーI「検診分野でのチーム医療の推進について」 セミナーII「必見!読影補助認定技師試験対策」	教育講演「読影補助認定技師に求められるカテゴリー判定・適切な追加撮影」、症例検討会	大会テーマ「適切ながん検診を安全に提供する」に基づき、胃X線検査安全基準冊子改訂版の正しい理解と普及を目指した合同協議会、保健衛生部会と放射線研修委員会の合同プログラムとして開催する。主な協議内容としては、前回地方会での協議内容から一歩踏み込んだ更なる安全性の強化について、検診申込、検診環境、検査前説明、検査中及び検査後の安全性等、各分野における安全性への工夫や配慮について審議する。	講演1「今更聞けないヘリコバクター・ピロリと粘膜萎縮の基礎知識」 講演2「今更聞けない除菌後胃がんと未感染胃がんの特徴」 講演3「今更聞けない胃がんの病理」	講演1「がん検診の未来は地域のニーズから!」 講演2「京都市の胃がん内視鏡検診～持続可能なよりよい方式を目指して～」 講演3「胃がん検診の『いま』」 講演4「腸がん検診の『いま』- the path to the future -」	教育講演「背景粘膜とX線場画像HP既感染胃がんの特徴」 症例検討	パネルディスカッション、胃X線症例検討会
	研修会名	第10回北海道胃がん検診専門技師研修会	2023年度放射線研修委員会研修会	大腸内視鏡検査の安全性～放射線・内視鏡研修委員会共同～(地方会に併催)	消化管撮影技術向上セミナー	第51回近畿支部放射線研修会	第2回放射線技師研修会(地方会に併催)	
	日時	2024年3月10日	中止	2023年9月24日	2023年8月20日	2024年2月17日	2023年11月26日	
	会場	Zoomによるweb開催		JAアキティホール	アクトシティ浜松コングレスセンター	Web	徳島大学大塚講堂	
	参加費	1,000円		無	会員2,000円、非会員3,000円	会員2,000円、非会員3,000円	無	
参加者数	120名		130名	92名	172名	48名		
主なプログラム	基調講演「X線と内視鏡の対比から学ぶ自己免疫性胃炎」 技術講演「実際に見てみようカテゴリー一例」 ミニレクチャー:X線画像から見た病理の読み方 症例検討:Zoomウェビナーの投票機能を使用した症例検討(1例)		大会テーマ「適切ながん検診を安全に提供する」に基づき、大腸内視鏡検査における精密検査に対する安全性として、大腸内視鏡検査を中心とした注意点や精度管理の在り方を、シンポジウム形式または座長集約討論会形式などで意見交換する。また、副次的な選択肢であるCTOでの安全性についても、必要に応じて討論する。	技師講演「任意追加撮影の技法」、医師講演「背景胃粘膜診断」「胃がん検診、消化管スクリーニング」、共催セミナー「画像診断装置における最新の画像処理に関して」、症例検討会	教育講演1「胃X線検査の難所～食道から胃上部を中心に～」 教育講演2「胃X線検診に関する最近の話題」 講演「検診からの発見が～精度管理指標をふまえて～」	教育講演2「今だから学び直す消化管造影検査～上部編～」 教育講演3「これから10年の胃がん検診に対応した胃癌病理学」 症例検討会		
研修会名			合同症例検討～放射線・内視鏡研修委員会共同～(地方会に併催)	放射線研修 読影応用コース				
日時			2023年9月24日	2024年2月17日				
会場			JAアキティホール	岐阜市文化センター				
参加費			無	2,000円				
参加者数			130名	48名				
主なプログラム			胃X線検査・上部内視鏡検査合同症例検討会および読影講習会 対策型胃がん検診での胃X線画像および内視鏡画像を基に、胃X線読影判定区分や対策型検診のための内視鏡検診マニュアルに基づく読影基準の再確認と、具体的症例を用いたX線・内視鏡画像の対比による症例検討を、内視鏡研修委員会および放射線研修委員会合同プログラムとして開催する。	「実践カテゴリー判定に挑戦」前半・後半・解答、「胃を検診する」ということは～一度振り返ってみよう～、「ランク上を目指す、拘りの撮影」 「胃X線撮影との縁」				

事業別	項目/支部	北海道	東北	関東甲信越	東海北陸	近畿	中国四国	九州
超音波研修会	研修会名	第20回超音波研修会	第21回超音波研修委員会研修会 (地方会に併催)	第23回超音波セミナー	第19回超音波研修会 (地方会に併催)	第43回超音波研修会 (地方会に併催)	超音波研修会 (地方会に併催)	
	日時	2023年4月15日	2023年12月2日	2023年4月15日	2023年12月9日	2023年8月26日	2023年11月25日	
	会場	札幌医科大学 臨床教育研究棟(予定)	盛岡市民文化ホール (第2会議室)	東医健保会館 大ホール	ウインクあいち	京都テルサ	徳島大学大塚講堂	
	参加費	2,000円	無	会員2,000円、非会員3,000円	無	無	無	
	参加者数	235名	20名	89名	60名	47名	30名	
	主なプログラム	テーマ「腹部超音波検診判定マニュアルの実践的活用方法」 特別講演「びまん性肝について」(仮題)、基調講演「腹部超音波検診マニュアルの実践」、症例検討「クイズで判定マニュアルを理解する」健診機関と精検機関からの症例提	教育講演「超音波技術を用いたNAFLD/NASH病態評価の新機軸」	教育講演1:胆道 教育講演2:肝臓 教育講演3:膵臓	特別講演「腹部超音波検診の現状と腹部超音波検診判定マニュアル改訂版(2021)」 教育講演「腹部超音波検査のポイントや工夫」	教育講演「膵癌早期診断のための超音波検査の役割」 症例検討会	特別講演「膵癌検出をめざした新規血清マーカーの開発と検診での課題」 教育講演「検診で見つかる異常所見～検出と判定におけるpitfall～」	
研修会名		第13回福島セミナー	第26回初心者のための腹部超音波実技講習会		第44回超音波研修会			
日時		2023年12月23日	2024年2月10日(土)		2023年11月25日			
会場		キョウワグループ・テルサホール	関東中央病院 2階講堂		住友病院講堂 ハイブリッド開催 会場:会員限定 3,000円 Web:会員500円、非会員1,000円			
参加費		2,000円	25,000円					
参加者数		71名	16名		81名			
主なプログラム		「精査が必要となる所見」～その所見、どう読んで・どう伝えるか～ 1.講義「膵臓・胆嚢」2.講義「肝臓」3.ライブデモ	初級者を対象とした腹部超音波スクリーニングの実技指導 ・実技講習(実際にプローブを握ってもらって超音波検査技術の習得)・基礎講義		会場:超音波ライブ、特別講演、ハンズオンセミナー Web:超音波ライブ、特別講演、後日オ			
研修会名		第16回東北セミナー	超音波セミナー (地方会に併催)					
日時		2024年3月2日	2023年9月23日～24日					
会場		フォレスト仙台	JAアグリーホール					
参加費		2,000円	無					
参加者数		50名、招待2名	90名					
主なプログラム		特別講演「検診で使える！超音波検査による大腸スクリーニング～ソノアトミーに基づいた走査法とUS典型像～」 教育講演「腹部エコーにおけるカラードブラ法のすすめ！」研究発表	教育講演1、教育講演2、教育講演3、パネルディスカッション「超音波検診判定マニュアル関連」、一般演題、ランチョンセミナー、ベストイメーシングコンテスト、クイズセッション					
保健師研修会	研修会名	2023年度地域保健研修会	第20回保健衛生研修委員会研修会 (地方会に併催)	地域 消化器がん検診従事者意見交換会 ～長野県下の保健師・看護師・事務職の方を中心にがん検診の現状と課題について～ (地方会に併催)		第33回保健衛生研修会 (地方会に併催)		
	日時	中止	2023年12月2日	2024年9月24日		2023年8月26日		
	会場		盛岡市民文化ホール (第2会議室)	JAアグリーホール		京都テルサ		
	参加費		無	無		無		
	参加者数		20名	14名		53名		
	主なプログラム		教育講演「大腸がん検診の適正な対象(推奨)年齢についての検討」	「胃・大腸がん検診従事者の「安全」対策に関する情報と意見交換会」 事前アンケートを基に、現状と課題、対策について意見交換を行った。	がん検診の受診率を向上させるために新たな価値観で挑む ～行動経済学を用いた理論でアプローチ～	講演「精度管理なきがん検診はがん対策にみならず近畿圏域における胃がん・大腸がん検診の『いま』-the path to the future-」		
研修会名			消化器がん検診の現状と課題 ～保健師・看護師として考えること～					
日時			中止					
会場								
参加費								
参加者数								
主なプログラム								
内視鏡研修会	研修会名		第1回内視鏡検診研修会	上部消化管セミナー (地方会に併催)				
	日時		中止	2023年9月24日				
	会場			JAアグリーホール				
	参加費			無				
	参加者数			130名				
	主なプログラム			胃X線検査・上部内視鏡検査合同症例検討会および読影講習会 対策型胃がん検診での胃X線画像および内視鏡画像を基に、胃X線読影判定区分や対策型検診のための内視鏡検診マニュアルに基づく読影基準の再確認と、具体的症例を用いたX線・内視鏡画像の対比による症例検討を、内視鏡研修委員会および放射線研修委員会合同プログラムとして開催する。				
研修会名			下部消化管セミナー (地方会に併催)					
日時			2023年9月24日					
会場			JAアグリーホール					
参加費			無					
参加者数			130名					
主なプログラム			大会テーマ「適切ながん検診を安全に提供する」に基づき、大腸がん検診における精密検査に対する安全性として、大腸内視鏡検査を中心とした注意点や精度管理の在り方を、シンポジウム形式または座長集約討論会形式などで意見交換する。また、副次的な選択肢であるCTCでの安全性についても、必要に応じて討論する。					
研修会名			東京都府中市医師会 胃がん検診講習会 (胃がん検診講習会へ共催として開催する)					
日時			2024年9月16日					
会場			府中市医師会					
参加費			無					
参加者数			16名					
主なプログラム			府中市医師会が主催する内視鏡検診勉強会に、内視鏡研修委員会として共催する。					
研修会名			立川市医師会 胃がん検診講習会 (胃がん検診講習会へ共催として開催する)					
日時			2/19					
会場			立川市医師会					
参加費			無					
参加者数			12名					
主なプログラム			東京都立川市医師会が主催する内視鏡検診勉強会に、内視鏡研修委員会として共催する。					
研修会名			杉並区医師会 胃がん検診講習会 (胃がん検診講習会へ共催として開催する)					
日時			2023/4・5月					
会場			東京都杉並区医師会館(Web)					
参加費			無					
参加者数			4月:42名 5月:11名					
主なプログラム			東京都杉並区医師会が主催する内視鏡検診勉強会に、内視鏡研修委員会として共催する。					



2023年度 正味財産増減計算書

2023年 4月 1日から2024年 3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費			
正会員受取会費	38,841,000	40,095,000	△ 1,254,000
賛助会員受取会費	2,620,000	2,660,000	△ 40,000
一般会員受取会費	28,365,000	28,172,000	193,000
支部通信費収益	3,132,000	3,193,000	△ 61,000
受取会費計	72,958,000	74,120,000	△ 1,162,000
事業収益			
機関誌収益	165,000	182,500	△ 17,500
出版物頒布収益	545,260	1,315,534	△ 770,274
広告収益	486,000	486,000	0
倫理審査手数料収益	20,000	20,000	0
認定手数料収益	8,330,000	6,230,000	2,100,000
認定研修受講料収益	4,054,000	3,071,000	983,000
技師認定手数料収益	10,740,000	10,003,000	737,000
技師研修受講料収益	6,300,000	4,110,000	2,190,000
事業収益計	30,640,260	25,418,034	5,222,226
学術集会収益			
参加費収益	25,641,000	20,795,000	4,846,000
研修受講料収益	2,610,000	1,951,500	658,500
協賛金収益	11,905,000	10,547,000	1,358,000
展示収益	4,020,550	1,631,000	2,389,550
広告収益	6,003,450	5,159,000	844,450
受取寄付金	3,736,000	3,620,000	116,000
雑収益	918,036	605,052	312,984
学術集会収益計	54,834,036	44,308,552	10,525,484
雑収益			
雑収益	536,454	192,000	344,454
雑収益計	536,454	192,000	344,454
経常収益計	158,968,750	144,038,586	14,930,164
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	20,714,400	26,638,760	△ 5,924,360
臨時雇賃金	915,208	405,000	510,208
退職給付費用	798,600	1,924,500	△ 1,125,900
法定福利費	3,359,283	3,519,801	△ 160,518
福利厚生費	171,539	212,085	△ 40,546
旅費交通費	3,600,854	908,762	2,692,092
通信運搬費	1,792,637	2,281,980	△ 489,343
広報費	3,803,407	4,495,729	△ 692,322
会議費	5,561,136	494,827	5,066,309
発送費	28,323	408,650	△ 380,327
奨励費	425,461	111,370	314,091
消耗品費	2,585,083	163,764	2,421,319
修繕費	1,681,766	1,786,950	△ 105,184
印刷製本費	12,322,918	14,473,351	△ 2,150,433
光熱水料費	230,819	326,830	△ 96,011
新聞図書費	12,320	0	12,320
会場費	7,789,588	2,325,364	5,464,224
運営費	9,312,830	2,033,376	7,279,454
賃借料	4,838,688	4,822,875	15,813
諸謝金	5,980,045	4,180,195	1,799,850
記念品費	702,328	761,320	△ 58,992
租税公課	45	65	△ 20
委託費	24,040,578	42,969,696	△ 18,929,118
支払手数料	1,963,906	3,048,355	△ 1,084,449
渉外費	509,798	0	509,798
雑費	22,000	0	22,000
事業費計	113,163,560	118,293,605	△ 5,130,045
管理費			
給料手当	11,987,733	7,248,963	4,738,770
退職給付費用	348,900	396,000	△ 47,100
法定福利費	176,656	185,100	△ 8,444
福利厚生費	9,026	11,159	△ 2,133
旅費交通費	193,732	57,964	135,768
通信運搬費	1,899,785	1,771,000	128,785
会議費	94,021	73,760	20,261
減価償却費	1,266,418	1,600,310	△ 333,892
消耗品費	514,490	1,136,614	△ 622,124
修繕費	88,514	121,550	△ 33,036
印刷製本費	1,246,270	1,057,880	188,390
光熱水料費	12,143	17,199	△ 5,056
会場費	18,800	0	18,800
賃借料	254,664	253,021	1,643
保険料	484,010	0	484,010
租税公課	2,101,306	1,347,649	753,657
顧問料	1,633,500	1,293,600	339,900
諸謝金	325,000	0	325,000
支払手数料	416,227	538,824	△ 122,597
雑費	296,719	288,231	8,488
管理費計	23,367,914	17,398,824	5,969,090
経常費用計	136,531,474	135,692,429	839,045
評価損益等調整前当期経常増減額	22,437,276	8,346,157	14,091,119
当期経常増減額	22,437,276	8,346,157	14,091,119
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産売却損			
固定資産除却損	3	2	1
固定資産売却損計	3	2	1
経常外費用計	3	2	1
当期経常外増減額	△ 3	△ 2	△ 1
当期一般正味財産増減額	22,437,273	8,346,155	14,091,118
一般正味財産期首残高	248,549,962	240,203,807	8,346,155
一般正味財産期末残高	270,987,235	248,549,962	22,437,273
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	270,987,235	248,549,962	22,437,273